

12 森林減少抑止・森林経営国際展開事業

【令和7年度予算概算決定額 76（77）百万円】

＜対策のポイント＞

気候変動の緩和と適応に向けた森林分野の取組として、森林と農業を取り巻くサプライチェーンにおける森林減少・劣化を排除するための体系的なアプローチを浸透・普及させるとともに、森林再生及び持続可能な森林経営と木材利用の重要性の普及を支援することで、世界の森林減少の抑止に貢献します。

＜政策目標＞

- 森林減少・劣化を抑止する一体的なアプローチをまとめたガイドラインの作成及びその普及
- 森林再生及び持続可能な森林経営と木材利用による気候変動対策や生物多様性保全上の効果や重要性について認識を広める

＜事業の内容＞

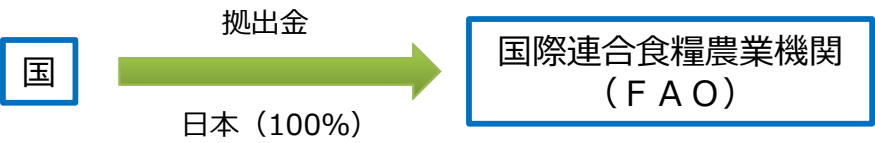
1. アフリカ地域森林減少抑止支援事業 53（56）百万円

- 既存の森林減少抑止施策の効果・効率性を検証することで得られた分析手法をアフリカ地域（2カ国）で適用を行い、より現場に即した分析手法を構築します。
- 地域レベルにおける森林減少・劣化の抑止に効果的な政策や活動を集約したガイドラインのプラットフォーム化を行い、森林減少・劣化を抑止する一体的なアプローチとしてアフリカ地域での国レベルでの浸透・普及を行います。
- 事業成果としてのガイドラインの活用による政策提言などを通じて国・地域レベルの開発計画等へ反映させ、森林と調和した持続可能なサプライチェーンの構築を支援するとともに、世界レベルでの普及・展開を図ります。

2. 持続可能な森林経営国際展開事業 23（21）百万円

- アジア大洋州を対象に、森林再生及び持続可能な森林経営とそれにより生産される木材の利用による気候変動対策や生物多様性保全上の効果に関する調査・分析を行います。
- 持続可能な森林経営及び木材利用が主要な課題解決策のひとつとなるよう、国際会議やイベント等を通じて情報発信を行います。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

現状	● 世界の森林は年間1,100万ha減少、2030年の国際目標達成は容易ではない状況
	● 途上国では、天然林の非持続的な利用による森林減少・劣化が進行
課題	● 森林減少抑止施策の費用対効果に関する分析結果の適用とその成果の普及・展開が不足
	● 持続可能な森林経営により生産される木材の利用推進の重要性への理解が不十分

アフリカ地域森林減少抑止支援事業

【分析結果の適用】
・得られた分析手法の現地での適用を通して、より地域に即した手法の構築を図る。

【成果の普及・展開】
・森林減少・劣化の抑止に効果的な政策や活動を集約したガイドラインのプラットフォーム化を行う。
・政策立案や技術支援を分野横断的に実施するワークショップ等の開催により、国レベル・世界レベルでの成果の普及・展開を図る。

目指す成果 森林減少・劣化を抑止する一体的なアプローチをまとめたガイドラインの作成及びその普及を図る。

持続可能な森林経営国際展開事業

【調査・分析】
森林再生及び持続可能な森林経営と木材利用による気候変動対策や生物多様性保全上の効果に関する調査・分析

【国際展開】
国際会議やイベント等を通じ木材利用の重要性を発信

目指す成果 森林再生及び持続可能な森林経営とそれにより生産される木材の利用を推進していくことの重要性を国際的に広く認識させる



持続可能な森林経営とそれにより生産される木材の利用が推進されるとともに、世界の森林減少抑止に貢献

【お問い合わせ先】 輸出・国際局新興地域グループ（03-3502-5913）
林野庁計画課（03-3591-8449）